8．運営費交付金債務及び当期振替額等の明細

⑴　運営費交付金債務の増減の明細

・運営費交付金の収益化は費用進行基準、「独立行政法人会計基準」及び「独立行政法人会計基準注解」に関するＱ＆ＡのＱ78―１―２にあります（第２法）を採用しております。

・当機構業務の対象である情報処理は、技術の進展がめまぐるしく、また、新たな標準や規格等が国際的に次々と登場しております。このような状況に柔軟に対処していくために、予算の配分も、重点的に行う対象そして期間を、年度単位に限定することなく考慮する必要があります。従って、年度単位ではなく、ある程度長い期間設定のなかで予算執行を考えているため（第２法）を採用しております。

（単位：円）

交付年度	期首残高	交付金当期交付額	当期振替額				期末残高
			運営費交付金収益	資産見返運営費交付金	資本剰余金	小　計	
平成22年度	1,943,583,049	―	1,867,395,259	76,187,790	0	1,943,583,049	0
平成23年度	―	4,034,799,000	2,238,109,585	0	0	2,238,109,585	1,796,689,415
合計	1,943,583,049	4,034,799,000	4,105,504,844	76,187,790	0	4,181,692,634	1,796,689,415

⑵　運営費交付金債務の当期振替額の明細

・業務達成基準及び期間進行基準は採用しておりません。

①平成22年度交付分

１）プログラム開発普及業務

区　分		金額（円）	内　訳
費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	1,508,085,271	①運営費交付金収益化額 （人件費　414,854,017円　業務費　1,093,231,254円） ②資産見返運営費交付金額 （建物　687,750円　工具器具備品　1,751,100円　ソフトウェア　8,683,500円）
	資産見返運営費交付金	11,122,350	
	資本剰余金	0	
	計	1,519,207,621	

２）情報技術セキュリティ評価・認証業務

区　分		金額（円）	内　訳
費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	55,720,778	①運営費交付金収益化額 （業務費　55,720,778円）
	資産見返運営費交付金	0	
	資本剰余金	0	
	計	55,720,778	

３）信用保証業務

区　分		金額（円）	内　訳
費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	0	①運営費交付金収益化額 平成22事業年度は財務収益等が信用保証業務費を上回っており運営費交付金は未使用
	資産見返運営費交付金	0	
	資本剰余金	0	
	計	0	

４）事業運営業務

区　分		金額（円）	内　訳
費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	303,589,210	①運営費交付金収益化額 （一般管理費　303,589,210円） ②資産見返運営費交付金額 （建物　4,290,300円　工具器具備品　26,608,571円　ソフトウェア　34,166,569円）
	資産見返運営費交付金	65,065,440	
	資本剰余金	0	
	計	368,654,650	

５）合計

区　分		金額（円）	内　訳
費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	1,867,395,259	①運営費交付金収益化額 （人件費　414,854,017円　業務費　1,148,952,032円　一般管理費　303,589,210円） ②資産見返運営費交付金額 （建物　4,978,050円　工具器具備品　28,359,671円　ソフトウェア　42,850,069円）
	資産見返運営費交付金	76,187,790	
	資本剰余金	0	
	計	1,943,583,049	

②平成23年度交付分

１）プログラム開発普及業務

区　分		金額（円）	内　訳
費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	1,439,614,889	①運営費交付金収益化額 （リース資産　3,849,300円　人件費　1,435,765,589円）
	資産見返運営費交付金	0	
	資本剰余金	0	
	計	1,439,614,889	